

第48号

一般社団法人  
日本音楽療法学会ニュース

発行 一般社団法人日本音楽療法学会

理事長 藤本 禮子 副理事長 猪之良高明 副理事長 二俣 泉

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

## 新理事長・副理事長 ご挨拶

理事長  
藤本 禮子

一般社団法人日本音楽療法学会理事長に就任致しました藤本禮子でございます。

これから2年間宜しく願い申し上げます。

学会のこれまでの、これからの運営について「踏襲と改革（新たな取り組み）」の視点からお話し致します。

今年度の新規役員体制は当学会役員等選挙規定に則り、2022年に選出された85名の代議員から新たに新理事20名が選出され、その後新理事会にて正副理事長、常任理事の選出が行われました。監事2名を含め、今後2年間計85名の役員で学会運営に取り組んでまいります。

当学会の役員数は他学会などと比して多いかもしれません。「役員の数が多すぎないか、動きが遅くなるのではないか」との懸念も聞かれました。しかし設立時、当学会を全国9支部からなる組織として「各代表者と意見を交わし進む」としたこの学会のありようを「踏襲し」この体制で学会運営を行っております。

次に「改革」についてです。

これまでも様々な新しい取り組みをしてまいりましたが、昨年度は委員会構成の見直しを行い、国家資格推進委員会、特別委員会（期限付委員会）を除く15の委員会を、学術部門、教育研修部門など7つの部門からなる構成と致しました。監事を除く83名の役員はそれぞれ7部門内の委員会に所属し、各委員会で積極的な論議が交わされ、学会の新たな方向性を提案し審議が行われています。現在、資格部門から提案された新資格制度、資格更新制度の見直しなど複数の事案が継続審議されています。

当学会は今後も学会の目的・事業、社会情勢、会員皆様の要望などを踏まえ、「過去の制度の踏襲と革新」を検討しながら進んでまいります。皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

副理事長  
猪之良 高明

この度副理事長に選任されました。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は以下の2点に重点を置いて活動をさせていただきたいと思っております。

## ①国家資格制度化の推進による音楽療法の発展

引き続き音楽療法士の国家資格化を目指し、音楽療法を必要とする方々に届くことを目指します。

## ②支部連携強化の推進による音楽療法の全国展開

各支部を取り巻く環境は様々であり、我が国の社会構造の影響を受けながら、大きく変化しております。支部連絡会等を通じて、各支部の現状、課題などを伺い、全国の音楽療法士が少しでも地域の中で安心して活動に取り組めるように、情報共有などのサポートできればと思います。

約2年弱という限られた期間ではありますが、音楽療法が我が国の様々な場面で必要であることが伝わるよう微力を尽くしたいと思います。

副理事長  
二俣 泉

この度、副理事長に選任されました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先般、札幌で開催された第24回学術大会では、これまで以上に多彩な研究発表と議論が展開されました。日本音楽療法学会が、学会員お一人おひとりの努力によって「多様でありながら一致している集団」であることを改めて感じさせられました。学術大会実行委員会の皆様の献身的な働きと、学会員の皆様の貢献に心より感謝申し上げます。音楽療法は活発な研究活動によって発展を遂げてきた学問・実践方法です。学会でさらに闊達な議論が展開していくための取り組みを進めていきたいと思っております。

学会員の皆様の音楽療法にかける情熱を原動力に、音楽療法という学問・実践がさらに発展するために、そして国家資格の道を一歩進めるために、さらにどんな工夫が必要なのか、学会員の皆様と共に考えてまいりたいと思っております。

## 第24回学術大会を終えて

実行委員長 高田 由利子



学会員のみならず、こんにちは。10月初旬の札幌は、朝晩に暖房の必要な季節となりました。さて、2024年9月27日から29日にかけて、札幌市白石区にある「札幌コンベンションセンター」において、講習会（27日）と学術大会（28日・29日）が開催されました。

第24回学術大会は、「集い 繋がり 語り合おう～さらに拓かれる音楽のちからを～」をテーマとして、会場でお会いし語り合うことを大切にしました。そのため、講習会とポスター発表の一部はオンデマンドとオンラインを活用しましたが、ほぼ全てのプログラムは対面形式での実施となりました。特に、みんなで同じものを見て聴くこと（同じ釜の飯を食べるような）から生まれる対話を大切にするため、市民公開講座を兼ねた甲地利恵先生の教育講演と Dr. Alan Harvey 先生の基調講演は、同時帯に他のプログラムを入れませんでした。講演後、どのような対話が繰り広げられたのでしょうか。研究発表においては、従来のセラピストクライアントのように、療法を提供する側と受ける側という二者関係の構図を一度解き、音・音楽を媒体にやり取りする「相手」と「自分」といった間主観性の視点から療法のプロセスを捉え直す研究が多く、改めて、「音楽療法」という言葉の有する意味についての問いを得る機会を頂いたように感じます。前例のない新たな取り組みもしました。まず、将来の日本の音楽療法を担う学生さん達に学校の垣根を越えて学術大会に主体的に参加して頂きたいという意図から、学校間交流をベースとした「学生企画」を実施しました。企画に参画した学生さん達は、和気藹々とした雰囲気の中で、興味や関心のある学びのテーマを共有し合い、また、音楽を協働で創ることを熱心に語り合っていました。上記の意図から参加費を大幅に下げたことにより大勢の学生さんの参加がありました。次に、「寄付企画」として大会オリジナルグッズ（Tシャツ、クリアファイルなど）を販売しました。売上金は、日本音楽療法学会信越・北陸支部を通じて令和6年能登半島地震の被害に対する音楽療法支援、また、世界音楽療法連盟を通じて海外の災害・人災被害国への音楽療法支援をいたします。さらに、懇親会での「M-1グランプリ」を真似た「MT-1グランプリ」の余興を開催しました。6組の応募があり、長野医療衛生専門学校の学生さんが優勝しました。おめでとうございます！！

大会参加者数は、大会事前登録者数が1,552名、大会会場参加者数は675名、対面講習会の申し込み者数が350名、オンデマンド講習会の申し込みは延べ5,196名（10/1現在も受付中）と、非常に多くの方のご参加がありました。多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。

最後となりますが、初めて学術大会運営に携わった11名の実行委員を中心に、会員や学生ボランティア、そのほかの方々からの協力をいただいて久しぶりの対面中心の大会を盛り上げようと力を合わせて取り組んでまいりました。それでも至らない点が多々あったと思います。参加者の皆さまからは、いろいろな場面において助けて頂き、感謝しております。ありがとうございました！

# 第25回日本音楽療法学会学術大会に向けて

大会長 吉村 奈保子

2025年9月5日～7日の3日間、つくば国際会議場にて、日本音楽療法学会学術大会が開催されます。

振り返れば、第1回の学術大会は関東支部が中心となり2002年1月にパシフィコ横浜で開催されました。学術としての音楽療法の一歩を踏み出すため、先人・先達たちと共に開催実現に向けて実行委員会が組織化されたのです。それから、ほぼ同じメンバーで第8回、第17回を兼ねた世界音楽療法大会の運営を経験し、迎える第25回は次世代に繋ぐことを急務とし、若手メンバーの年齢構成を厚くしました。単なる除旧更新でも新陳代謝でもなく、大会運営を通して音楽療法を担う原動力となっていくでしょう。実行委員会のコンセプトは「集合知」です。個人の知識、洞察、経験を組み合わせ、情報やアイデアを共有しながら協働作業を行っていきたいと考えています。

## 大会テーマ〔LISTEN〕に込めた思い



大会テーマロゴ

第1回の学術大会テーマは「新世紀にはばたく音楽療法」、初めて開催する学術大会に、私たちは音楽療法の拡がりゆく希望を託しました。大会ごとのテーマは、「音・音楽」の意味・役割を考える、「感」と「知」、学際性と全人性、源流を求めて、原点と課題、アイデンティティ、個を生かし個を結びつける、役割を再考する、未来をひらく……と変遷していき、音楽療法の在るべき像を模索し続けていることが伝わります。

第25回の大会テーマは〔LISTEN〕としました。はたして私たちは、音楽療法をとりまく〔おんがく、ひと・ところ・からだ・ことば〕に耳を傾けているだろうか、という内省的な思いが始まりました。聴かれざる声・内なる声に耳を傾けていきたい、聴覚だけではなく感覚からも〔人・障害・関わり〕について「聴く・知る」機会となれば、そんな期待が込められています。

また、LISTEN〔L・I・S・T・E・N〕の各文字にいろいろな意味をもたせるアクロスティック（折句）で、イメージを拡げてみました。Love・Inspire・Sing・Team・Energy・Noise など。

あなたは、どんな言葉を LISTEN に織り込みますか？

## 学びの場に込めた思い

企画内容を考える際、先ず実行委員でプレストをし、様々なアイデアを出していきました。こうして集まった知的好奇心の種を、関東支部支部長は講演や講習会の構成として、右図の「音楽療法士の樹」に表しました。音楽療法士の実践に役立つ知識、技術などを系統立てて組み立て、音楽によって枝葉が伸びていくイメージです。一方で、樹を支える土壌を豊かにするのが臨床哲学となります。大会での学びは、明日の実践に役立つだけでなく、スキルを高め、理解を深め、そして何年後かの「気づき」に繋がっていくでしょう。

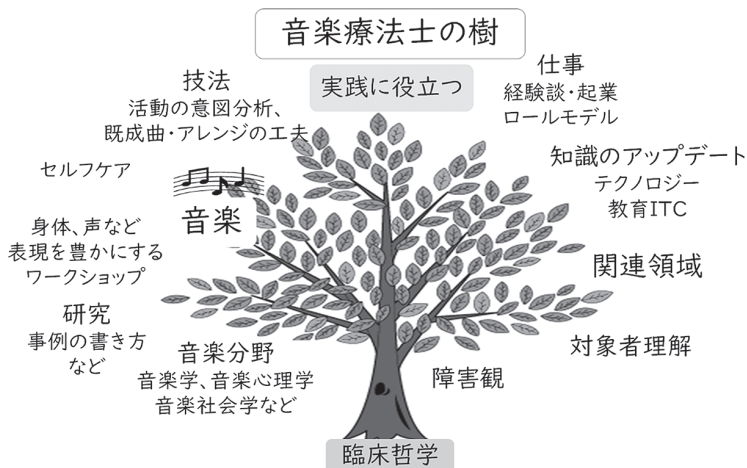
経験年数に沿ったニーズは個人によって異なりますが、例えば、認定資格を取得した音楽療法士が、更新までの期間に、自信と希望がもてる学びとして「実践現場の声を聴く」を企画しています。

さいごに、「みんなのこえがききたいな」と歌う、大会のナビゲーター「りすてん」を紹介します。メッセージ動画による躍動感あふれる活躍が楽しみです。

つくばの地で、ともに集い語らう時を心待ちにしております。



大会認定マスコット



# ■ 国家資格推進委員会報告 ■

国家資格推進委員会  
委員長 藤本 禮子

学会ニュース第47号以降の国家資格推進委員会の活動について、1. 国家資格化に向けた国会議員などへの働きかけ 2. 国家資格化情報の共有の活動 3. 音楽療法の社会的認知を進める活動 に分けて報告いたします。

## 1. 国家資格化に向けた国会議員への働きかけ

2024年

- 6月17日 参議院会館大会議室にて、当学会顧問 秋野公造参議院議員（音楽の力を活用して生きる力を支援する議員連盟、略称 音楽支援議連）幹事長、当学会顧問佐々木さやか参議院議員（同議連事務局長）、法制局担当者と会見しました。当学会から藤本理事長、猪之良副理事長、二俣副理事長が出席し、当学会提出資料を基に話し合いました。法文案の音楽療法士の定義などについて修正が求められ、再提出することとなりました。その後、秋野公造参議院議員と当学会第24回学術大会にて開催予定のシンポジウム「国家資格は今～6～」について、打ち合わせを行いました。
- 8月29日 浮島智子衆議院議員（当学会顧問、音楽支援議連 会長代行）と浮島議員事務所にて他団体との連携について留意すべきことなどを伺いました。当学会からは藤本理事長、猪之良副理事長、二俣副理事長が伺いました。
- 9月7日 国光あやの衆議院議員（音楽支援議連 事務局次長）の活動報告会が茨城県土浦市にて行われ、藤本理事長、岩本純子代議員が出席しました。当日は国光あやの議員、上川陽子外務大臣（当時）、政治ジャーナリスト田崎史郎氏が話されました。

## 2. 国家資格化情報共有の活動

2024年

- 9月28日 第24回日本音楽療法学会学術大会にて、国家資格推進委員会企画によるシンポジウム「国家資格化は今！-6-～最後の日まで対象者を他者とつなぐ音楽療法～」を開催しました。登壇者と発表内容は以下のとおりです。
- 登壇者 秋野公造（参議院議員）「「他の専門家に繋ぐ音楽の支援」を法文案にする」  
儀賀理暁（埼玉医科大学総合医療センター緩和医療科教授）  
「ひとりで泣かないで ～あなたの“わたし”をきくということ～」  
藤本禮子（日本音楽療法学会理事長）「最期の日まで高齢者を他者とつなぐ」  
村林信行（日本音楽療法学会常任理事）「音楽療法が最期の日までを支えるため度の制度の裏付け」
- 司 会 二俣 泉（日本音楽療法学会副理事長）

## 3. 音楽療法の社会的認知を進める活動

2024年

- ・ 9月27日 第24回日本音楽療法学会学術大会（札幌コンベンションセンター）にて「ミュージックセラピーコンサート vol.3～音楽で楽しく、音楽で元気に～」を開催しました。出演者は以下の通りです。  
道先案内人：鴨下一郎（日本音楽療法学会顧問） 湯川れい子（日本音楽療法学会理事）  
出演：フルート 畠中秀幸 ピアノ 小川紗綾佳  
HBC 少年少女合唱団  
当日は350名ほどの方が参加され、「心に響きました。音楽の力を感じました。」などの感想が寄せられました。
- ・ 他団体との関わり  
10月から医療領域の団体などへの活動を始める予定です。

以上、国家資格推進委員会から報告いたしました。これからも国会議員他の方々のご協力を頂き、音楽療法士の国家資格化を進めてまいります。会員の皆様には益々のご支援を宜しくお願い致します。

# ■ 日本音楽療法学会 2024年度 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会  
委員長 米倉 裕子

学び続ける民の音楽療法士の皆さまにおかれましては、お元気にお過ごしのことと存じます。今年度の学びのテーマは『基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～』です。脳、身体、行動、感覚、コミュニケーション、などの視点から、皆さまが音楽療法の基本を見つめ直す機会となる1年になることを願って決定、実施しております。現在、オンデマンド第1期、第2期を含んだ前半を終了いたしました。皆さまが前半を振り返った際に、それらが学びのサポート、明日への臨床に繋がったと感じていただけますと幸いです。

さて、ここからはよいよ今年度後半に実施される第3期オンデマンドによる講習会、及び対面式の研修・講習会のご案内をさせていただきます。第3期オンデマンド配信は、脳科学と応用行動分析学についての学びの機会を提供いたします。また、ワクワク枠として当学会の理事でいらっしゃいます音楽評論家・作詞家の湯川れい子先生の講座も配信予定です。湯川れい子先生が音楽療法士に期待していることは何なのか、是非配信にて確かめていただきたいと思います。加えて、「倫理・知的財産基礎講座」の再配信を致します。音楽療法士にとって知っておかなくてはならない大切なお話ですので、昨年度受講していない方は是非受講していただきたいと思います。

2022年度に復活開催いたしました「現地対面型研修連続受講企画」は、深く学ぶことができる、と受講生に大変好評ですので、2024年度も同様のスタイルでの開催予定です。今年度は西日本におられる受講生の皆さまの講習会への参加の利便性を鑑みまして、開催場所を関東から関西に移しまして武庫川女子大学で2日間の開催を予定しております。全国の皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

2024年度後半も学び続ける民・音楽療法士の皆さまには、好きな場所から学べる「オンデマンド型 オンライン枠」、そして学びの喜びを受講生同士で共有できる「現地対面型枠」、以上の2つのスタイル全ての研修・講習を経験していただきたいと考えております。研修・講習委員会では、学会員おひとりおひとりの声を伺いながら、少しでも学びの喜びが明日の臨床に生かされます様に、今後も引き続き学びの計画と実施を推進していきたいと考えております。今年度も何卒よろしく願いいたします。

## I 2024年度「オンデマンド型 オンライン研修・講習会」実施計画

第3期：2024年11月1日（金）～2025年1月31日（金）配信予定

### □2024・3rd・00-1・新作

基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・脳科学

タイトル：認知症になっても変わらない力、高められる力～脳科学から見た認知症～

内容：認知症には専門家でもまだまだ多くの偏見があります。私自身、認知症が「進行性」と言われていることで、2015年に母が認知症と診断された頃は、「ずっと一緒に生きてきた母親が、本当に母親でなくなってしまうのだろうか？」など不安に思っておりました。しかしその後、母と一緒に暮らした8年間で、そんなことはまったくないのだということを知っていくことになりました。正確に脳のどこにどのくらい変化が起こるのかを確認しながら、認知症のある人に残る力を検討したいと思います。母はピアノの先生でしたので、音楽が母に与えた影響、音楽療法が母や私に与えてくれた希望をお話できればと思います。

講師：恩藏 絢子 氏

プロフィール：  脳科学者、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。

### □2024・3rd・00-2・新作

基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・応用行動分析学

タイトル：「ハッピーに生きる方法」を探すための科学～音楽療法士のためのABA（応用行動分析学）～

内容：この講義の目標は、受講する皆さんに、次のような変化をもたらすことです。

- ・より楽しく音楽療法の仕事に向かえるようになる
- ・より柔軟に考えられるようになる
- ・苦手な人とも楽しくかわれるようになる
- ・人間関係で生ずる「全ての現象」と適度な距離をとって冷静に受け止められるようになる

ここで役立つのが「ABA（Applied Behavior Analysis、応用行動分析学）」という学問です。ABAは心理学の学派の

一つで、「科学的であること」と「確実に対象者の助けになること」を大事にしており、対人援助の実践と研究の両面で、膨大な実績があります。

ABAは「対象者がハッピーに生きられるようになる」ことを目指し、「ハッピーでない状態にある人」がいたら、その理由と解決方法を具体的に考え、支援にあたります。対象者のハッピーを目指すためには、職場の同僚、友人、家族、そして音楽療法士自身がハッピーである必要があります。そのための「具体的方法」を導き出すことができる科学—それがABAなのです。

みんなが楽しくハッピーに生きるための「科学的な方法」を、受講する皆さんと一緒に学びたいと思います！

講師：二俣 泉 氏

プロフィール： 昭和音楽大学教授



講師：木下 容子 氏

プロフィール： 東邦音楽大学准教授、日本音楽療法学会認定音楽療法士。



### □2024・3rd・00-3・新作

タイトル：日本の音楽療法に期待すること

内容：音楽療法士ではない私が、50年間、およそ半世紀にわたって見聞きしたり感じたりしたことから、「こうあってほしい」と望むことを解りやすくお話してみました。

音楽療法との出会いは1972年のサンフランシスコ。その後、ノードフ&ロビンスの本部ロンドンにも足を運び、日野原重明先生と日本での音楽療法を見つめてきました。日本ではまだ音楽療法への理解が無かった80年代は、ニューエイジ・ブームで、宮下富実夫さんや喜多郎さんといった方々のヒーリング・ミュージックに注目が集まったりした頃もあり、そこからさらに40年。

時代の変化と共に、音楽療法に求められることもまた変化し、音楽そのものへの理解も進んでいます。

講師：湯川 れい子 氏

プロフィール： 音楽評論家、作詞家。



### □2024・3rd・00-4・再配信

倫理・知的財産基礎講座

タイトル：倫理講座

内容：倫理綱領および倫理ハンドブックを題材にした講座

講師：村林 信行 氏

プロフィール： 医療法人社団信俊会 心療内科アーツクリニック大崎院長



※ご視聴いただくにあたっては、当学会発行テキスト：『日本音楽療法学会 倫理ハンドブック』をご用意ください

### □2024・3rd・00-5・再配信

倫理・知的財産基礎講座

タイトル：知的財産権講座

内容：著作権を含む音楽療法士として必要な知的財産基本法、知的財産権の知識習得のための講座

講師：延増 拓郎 氏

プロフィール： 石碓・山中総合法律事務所 代表弁護士



#### 〈倫理・知的財産権基礎講座について〉

- ・2講座ともに、倫理・知的財産権についての基礎講座です。2講座セットでの視聴を推奨します。
- ・今回の再配信2講座は、2023年11月25日に、当学会がオンラインにて実施した「倫理・知的財産権基礎講座」の再配信となります。その際にご参加いただいた方も、お申込いただければご視聴可能です。
- ・今回が2回目の受講となる場合、更新申請時または資格試験申請時、どちらか一方のポイントをご使用くださるようお願いいたします。

## ◆オンライン研修・講習会申込み方法など

### 1. 視聴料

1本 一律2,000円 申込本数の制限はありません。また、視聴期間内であれば何度でも視聴いただけます。

### 2. 申込み方法

- ・動画の申込み、視聴には「マイページ」の作成が必須です。学会ホームページの「オンライン研修・講習会」からお入りいただき、【マイページの作成・ログインはこちらから】ボタンから会員（非会員も）ご自身で作成ください。
- ・一度作成した「マイページ」は以後も引き続き使用できます。1人につき1マイページを作成してください。

### 3. 受講ポイント

オンライン研修・講習会の取得ポイントは動画視聴1本につき、「認定申請：2ポイント」「更新申請：2.5ポイント」です。

### 4. オンデマンド視聴に関する遵守事項

いかなる方法においても「配信動画」の録画・録音、また資料等の登用は法律で禁止されております。ご注意ください

※オンライン研修・講習会の講座内容についてのご質問は受けつけておりません。

## Ⅱ 2024年度「現地対面型研修・講習会」実施計画

2025年2月15日（土）～2025年2月16日（日）実施予定

2025年2月15日（土）《全体研修》

◎プログラム ※2コマ連続受講となります。

12:15	受付
12:45～13:00	挨拶・ガイダンス
13:00～14:30	第1講 全体研修
14:30～14:45	休憩
14:45～16:15	第2講 全体研修

### ■《全体研修》

タイトル：痛みや苦しみを抱えている人に向き合おうとする心のあり方

～ホスピスケアの歴史を振り返り、マインドを忘れないために～

内 容：1967年ロンドンにセントクリストファーホスピスが開設され、現代ホスピスが幕を開けた。設立者のシンリー・ソングスは、痛みや苦しみを抱えている人に向き合おうとする心のあり方をケアリングマインドとして示され、ホスピスは世界中に広がっていった。わが国で最初にホスピスケアが実践されたのは、1973年大阪の淀川キリスト教病院においてである。ケアリングマインドは脈々と受け継がれ、現在全国の緩和ケ病棟は500施設を超えている。マインドはホスピス緩和ケアに留まらず、ケアに携わるすべての人が是非とも持ち続けてほしいものである。ホスピスの歴史を振り返りマインドの普遍性、持ち続けることの大切さを共に考えたい。（オカリナ演奏付き）

講 師：三枝 好幸 氏

プロフィール：



桜町病院ホスピス科部長、日本死の臨床研究会代表理事・ありかた特別委員会委員長、日本ホスピス緩和ケア協会理事、日本終末期・緩和ケア音楽療法士連絡会顧問・監事、聖ヨハネホスピスケア研究所所長。

## 2025年2月16日（日）《分科会》

◎プログラム ※3コマ連続受講となります。

9:30	受付
10:00~10:15	挨拶・ガイダンス
10:15~11:45	第1講
11:45~12:45	休憩（昼食）
12:45~14:15	第2講
14:15~14:30	休憩
14:30~16:00	第3講

### ■ A会場 《分科会①》

タイトル：多様な発達スタイルの子どもたちの理解と支援～感覚統合理論、スヌーズレンの理念に基づく実践～

内 容：いわゆる発達障害と呼ばれている子どもたちのなかには、感覚や体の使い方に多様性がみられることがあります。この多様性を理解・尊重し、適切な配慮と発達のサポートを行っていくことで、子どもたちの生き生きとした生活を実現することができると考え、これまで実践してきました。私の実践において大切にしてきた考え方は、感覚統合理論とスヌーズレンの理念です。感覚統合理論は、感覚ー運動の多様性によって生じる子どもの行動や運動の困難さを理解することに役立ちます。またスヌーズレンの理念は、発達促進という視点から離れ子どもの多様性を受けとめることで子どもとの関わり合いや楽しさの共有の大切さに気付くことができます。今回の講義では、この2つの視点で、多様性によって生じる行動の理解、支援の方法、さらに多様な発達スタイルの子どもたちの捉え方などについて考える機会をもつとともに、これらの理念をベースとして運営しているプレイジム（児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業所）での取り組みなどについて紹介させていただきます。（少し体を動かすミニワークも実施する予定です）

講 師：太田 篤志 氏


プロフィール：  プレイジム代表

### ■ B会場 《分科会②》

タイトル：音楽療法と声ー

内 容：私たちにとって「声」はどのようなものでしょうか？ 言葉を話すことや歌うことの音源であることはもちろん、心身の状態を映し出す鏡であり、同時にアイデンティティにもかかわる非常に大切な存在です。本講演では、発声器官の進化論的起源とそれゆえに人類が負ってしまった課題、呼吸・発声・構音機能の連続的なメカニズム、加齢と発声の関係、パーキンソン病による発声・構音障害、その解決方法のひとつとしての音楽療法ボイスプログラム、そして声を使う職業・音楽療法士の声の使い方の特殊性などについて解説し、皆さんと体験していきます。気持ちよく声を出すことーそれはセラピストとその対象となる人たちを幸せにするツールかもしれません。

講 師：羽石 英里 氏

プロフィール：  昭和音楽大学特任教授。同大学音楽療法研究所所長。日本音楽療法学会認定音楽療法士、アメリカ音楽療法学会認定音楽療法士。

### ■ C会場 《分科会③》

タイトル：「人間と音楽の本質的関わりについて～重症心身障害児者（医療的ケア児者）の事例から学ぶ～」

内 容：高山の重症心身障害児との出会いは20年ほど前に遡る。病院に隣接する某支援学校からの依頼で、中学部の最重度心身障害（＝医療的ケア、学校では重度重複障害）A君との出会いから始まった。A君は1歳の時に自宅の池に落ち、「低酸素脳症」の重い障害を負った。人工呼吸器をつけ、目は見えず耳も聞こえているか不確かな状態であり、手足は動かず、一見、何もできないように見えた。「音楽療法をどのように実践するか」途方にくれた高山は、A君の側で歌うことから始めた。数ヶ月後、「もののけ姫」の曲になると心拍数に変化が出た。その後、この曲を演奏すると涙を流す様子が見られるようになった。この経験から高山は、「音楽すること musicking」の意味を考えるようになり、すべての実践において、人間と音楽の本質的関わりを考察しながら実践してきた。今回の研修では、これらの内容を含め「身体、知力・認知、感情、関係・社会性」の発達の焦点・順序性を確認しながら、参加の皆様とともに「実践映像」から学びたいと考えている。そして、この作業は音楽療法の原点的学びであり、特に、自閉症や高齢者の領域にも大いに関連した学びとなろう。

講 師：高山 仁 氏

プロフィール：  たかやま音楽療法研究所主宰 日本音楽療法学会代議員 日本音楽療法学会認定音楽療法士

※都合により一部講師、内容の変更が生じることがあります。ご了承ください。



## ◆対面型研修・講習会 申し込み方法など

1. 対象者：正会員、学生会員、一般、一般学生、認定校学生
2. 日 時：2025年2月15日（土）《全体研修》 12：45～16：15（2コマ各90分）  
2025年2月16日（日）《分科会》 10：00～16：00（3コマ各90分）休憩（昼食）11：45～12：45
3. 会 場：武庫川女子大学 中央キャンパス（〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46）  
阪神本線 鳴尾・武庫川女子大前駅より徒歩7分
4. 受講料：

	正会員	学生会員	一般	一般学生	認定校学生
2月15日のみ	5,000	2,000	8,000	3,000	無料
2月16日のみ	8,000	3,000	12,000	5,000	3,000
2日間申込み	※10,000	5,000	20,000	8,000	3,000

※正会員は、2日間受講で受講料が割引になります。
5. 定員：《2/15全体研修》 100名  
《2/16分科会》 A会場40名 B会場60名 C会場60名
6. 申込方法：学会ホームページ内の「2024年度 研修・講習会のご案内」ページよりお申し込みください。  
(11月下旬にホームページに掲載予定)
7. 申込受付期間：《正会員・学生会員》 2024年12月2日（月）10：00～2025年1月17日（金）15：00  
《一般・一般学生・認定校学生》 2025年1月20日（月）10：00～2025年1月27日（月）15：00  
※先着順で受け付け、募集定員になり次第、または、申込締切日をもって締め切ります。  
※一般・一般学生・認定校学生の受付は、正会員・学生会員の受付を終了し、定員に余裕がある場合に行います。  
※払込方法、払込期日などは申込をされた方に自動返信メールにてお知らせします。
8. キャンセル期限：2025年1月27日（月）15：00  
※申込ページ内のキャンセル申し込みフォームよりご連絡ください。  
※受講料より、キャンセル料（2,000円）を引いた金額をお返しいたします。  
※キャンセル期限以降は、一切返金できませんのでご注意ください。
9. 講習会受講ポイント：受講証は後日郵送いたします。  
※学会認定資格申請を目指す方は、受講後にレポート提出をすることで、レポートポイントがプラスされます。  
資格更新の方にはこのルールは該当しません。

◇多くの学び続ける民、音楽療法士の皆さまに、学びの場として活用していただけますことを研修・講習会委員一同楽しみにしております。(研修・講習会委員 一同) ♪

## ■ 第4回日野原賞受賞者の言葉 ～日野原賞を受賞して～ ■

〈論文部門〉

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻  
顎顔面機能再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野 講師 山下 薫

この度は、大変栄誉ある賞を与えてくださった関係者の皆様、ならびにこれまで研究活動を支え、応援して下さいました皆様に、厚く御礼申し上げます。創設当時より目標としていた日野原賞を受賞でき、研究グループ一同大変嬉しく思っております。

歯科医師である私が、音楽の研究に携わっている経緯につきまして、まずは簡単にご説明させていただきます。私は幼少期よりピアノを習っておりましたが、演奏を聴いた家族、祖父母や友人、演奏にのせて歌う方々が笑顔になる瞬間が何ものにも代え難く、人を笑顔にできる音楽の力に大変魅力を感じておりました。人を幸せにできる音楽に携わる仕事がしたいと思いながら過ごしていた高校生の時に、1冊の本と出会いました。音楽療法という分野に出会った私は、音楽と医学の研究をしたいという夢を持ち、医療の道を志しました。歯科医師となった私は今、歯科麻酔全身管理学分野で大学教員として、教育・臨床・研究に励んでおります。臨床では、口腔外科手術・歯科治療時の全身麻酔や静脈内鎮静法、リラックス歯科外来での診療を担当し、研究では音楽聴取が歯科治療時の自律神経活動に与える影響をテーマとし、論文執筆や学会発表を通して国内外に知見を発信しています。歯科治療中の音楽聴取が自律神経活動と心理状態に与える影響を調べた博士論文<sup>1)</sup>は、大変ありがたいことに、現在複数のレビューに引用されています。本賞の受賞論文<sup>2)</sup>は、歯科治療前の音楽聴取の有用性を調べた研究成果をまとめたものになります。歯科治療の中でも抜歯はストレスの多い処置であり、抜歯前の不安と外科処置に関連するストレスは、自律神経活動を変動させ、高血圧や血管迷走神経反射などの全身的偶発症を引き起こす可能性があります。安全で快適な歯科治療環境を確立することを目的として、本研究では、抜歯前の音楽聴取が患者の自律神経活動と心理状態に与える影響を調査しました。その結果、抜歯前の音楽聴取は、術前の交感神経活動を抑制し、自律神経活動の変動が起りやすい局所麻酔および抜歯中に交感神経活動を減少させること、不安を軽減させることを見出し国際誌に報告しました。「音楽で人を幸せにする仕事がしたい」と、幼少期より抱いていた夢が、少し叶ったような気がしています。

日野原重明先生の「音楽療法はアートですが、医療で使うためにはサイエンスが必要です。」というお言葉があります。音楽を医療に応用するための研究を継続し、エビデンスを蓄積していくことが私の使命と感じております。本賞の受賞を励みに、「安全な歯科治療環境の構築」を目標として研究を継続していきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

1) The Effects of Music Listening During Extraction of the Impacted Mandibular Third Molar on the Autonomic Nervous System and Psychological State. J Oral Maxillofac Surg. 2019, 77(6): 1153.e1-1153.e8

2) Listening to music before tooth extraction attenuates sympathetic nervous system activity: A randomized control trial. Oral sci int. 2023; 20(2):88-94

## ■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

### § 北海道支部

#### 【事務局】

〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

E-mail : jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com

支部ホームページ : <http://www.jmta-h.jp>

#### 【支部役員】

任 期 : 2022年4月～2025年3月

支部長 : 近藤里美 副支部長 : 長谷部夏子 事務局長 : 下出理恵子

○9月28、29日に爽やかな秋晴れのもと、第24回日本音楽療法学会学術大会を札幌コンベンションセンターにて開催致しました。学生会員を含む大勢の会員の皆様から大会登録をいただき、当日には多くの多職種の方々が参加され、無事に閉会を迎えることができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

○北海道支部では例年2回の支部大会を開催しております。今年度は全国の学術大会が開催されましたので、年明けに支部大会に代わる研修会を開催することとしました。冬季開催に伴う北海道ならではの交通手段の難しさを鑑みると共に、全国から多くの方々にご参加いただけるようにZoomにて開催する予定です。

日 時 : 2025年2月16日(日) 13:00～16:00

開催方法 : Web 開催 (Zoom)

講演1 海原純子 先生「ポジティブ心理学を学ぶ」(仮)

医学博士・心療内科医 日本ポジティブサイコロジー医学会理事

講演2 上羽由香 先生「(タイトルは調整中)」

米国公認音楽療法士 日本音楽療法学会認定音楽療法士

高知大学・白菊園病院リハビリテーション科音楽療法士

全国の皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは北海道支部 HP <http://www.jmta-h.jp> をご覧ください。

### § 東北支部

#### 【事務局】

〒988-0261 宮城県気仙沼市本吉町後田137-2 佐藤方

E-mail : [jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp](mailto:jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp)

支部ホームページ : <https://jmtathhp.wixsite.com/jmta-tohoku>

#### 【支部役員】

任 期 : 2023年4月～2027年3月

支部長 : 高山 仁 事務局長 : 佐藤香里

◎東北支部では、11月10日(日)に第24回東北支部学術大会を終了いたしました。

現在は、今年度の支部講習会、次年度の支部学術大会の準備を進めております。

どちらもオンラインでの開催を予定しております。他支部の皆様もご参加いただけます。

詳細は随時、東北支部ホームページに掲載してまいりますのでご覧ください。

◎2024年度東北支部講習会のご案内

テ ー マ : 「研究の意義 臨床経験をワークしよう」

日 時 : 2025年1月19日(日) 9:30～12:45 (90分2コマ休憩含む)

開催方法 : Zoom によるオンライン

内 容 : 第1講 3名の講師の臨床経験およびその研究についての講話

第2講 乳幼児・児童・高齢者の3領域に分かれワーク

(臨床経験を共有し、研究の意義・目標などについて話し合う)

※お申込み方法など詳細は東北支部ホームページをご覧ください。

◎第25回東北支部学術大会

日 時 : 2025年6月29日(日)

開催方法 : Zoom によるオンライン

※詳細は随時東北支部ホームページに掲載いたします。

## § 関東支部

### 【事務局】

〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミ株式会社内

TEL：0276-55-6344 FAX：0276-55-5022

E-mail：mtkanto@jmta-kanto.jp

支部ホームページ：http://www.jmta-kanto.jp/

開設時間：平日（火～金） 11：00～15：00

### 【支部役員】

任 期：2023年4月～2026年3月

支部長：小柳玲子 副支部長：平野夏子 事務局長：大島美知恵

#### ◎第22回 関東支部地方大会（山梨）のご案内

開 催 日 時：2025年3月2日（日）

会 場：山梨県立図書館（山梨県甲府市）

大 会 長：山本久美子（山梨音楽療法研究会会長）

基 調 講 演：村瀬俊朗 先生（早稲田大学商学部 組織心理学 准教授）

大会テーマ：「見つけよう他職種との連携で成功する鍵を～音楽療法士がリーダーシップを発揮するためには～」  
対面とオンデマンドのハイブリッド型で計画しております。

大 会 内 容：大会長講演／基調講演／研究発表／分科会領域別／ワークショップなど

#### ◎関東支部主催研修会のご案内

2024年度 第2回 日本音楽療法学会関東支部研修講習会

開 催 日 時：2025年3月1日（土） 午後の予定

内 容：講演（対面型）「カリキュラムガイドラインについて」

会 場：山梨県立図書館イベントスペース（山梨県甲府市）

定 員：70名程度

講 師：二俣 泉 氏（昭和音楽大学）他

## § 信越・北陸支部

### 【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神2-4-53 ジオグラントドエル602号

E-mail：mt.office2020@gmail.com

支部ホームページ：https://mtoffice2020.wixsite.com/jmtash

### 【支部役員】

任 期：2022年4月～2026年3月

支部長：近藤清彦 副支部長：宮本啓子 事務局長：高橋和奈枝

#### ◎第22回信越・北陸支部学術大会・講習会（石川）のご案内

日 時：2025年6月22日（日）

会 場：金沢勤労者プラザ（金沢市北安江3-2-20）

JR 金沢駅西口より徒歩10分

大会テーマ：「復興と共に～人に寄り添える音の力～」

大 会 長：佐藤順子 氏

令和6年能登半島地震に際し、同年4月、日本音楽療法学会本部常任理事会及び理事会により能登半島地震対策特別委員会の発足が承認されました。信越・北陸支部では他支部における過去の経験に学びながら、被災地支援に関する講習会の開催や被災地への音楽療法士派遣に取り組んでいます。なお、音楽療法士の派遣チームはMTAT：Music Therapist Association Team（災害派遣音楽療法チーム）とし、支部ホームページ内の「MTAT」のページにて活動報告を行っています。

## § 東海支部

### 【事務局】

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 大垣女子短期大学 菅田文子研究室

E-mail : jmta.tokai@gmail.com

支部ホームページ : <https://jmta-tokai.net/>

### 【支部役員】

任 期 : 2022年 4月～2024年 3月

支部長 : 渡辺恭子 副支部長 : 伊藤孝子 事務局長 : 菅田文子

2024年 4月から東海支部は新しい役員体制（第12期）となりました。支部長の渡辺恭子と事務局長の菅田文子は第11期に引き続いて役を担い、副支部長は伊藤孝子が新たに担当することとなりました。東海支部会員様のお力をいただきながら、音楽療法の発展に努力したいと存じます。

第23回日本音楽療法学会学術大会を東海地区で開催したため、2023年度は支部大会を開催せず、支部講習会という形態で2つの講義を用意し完全対面の開催をしました。今年度も対面開催を軸に調整をしています。東海支部では、支部大会を東海支部各県で持ち回り開催をしておりましたが、2022年度・2023年度は愛知県での開催でした。そこで、2024年度は静岡県での開催を予定しています。詳細は東海支部 HP で順次掲載しますので、他支部からもご参加いただけたら幸いです。

第12期では、引き続きインターネット投票による選挙を予定しています。前は猶予期間としてハイブリット投票でしたが、今回は完全インターネット投票を目指します。また、東海支部会員のメールアドレスの登録に尽力している最中です。さらに、会員への情報発信・周知、各種登録、選挙などを HP 上からできるようにしたいと考えています。そこで、HP の重要性に鑑み、第12期では HP 担当役員 2名を新たに配置しました。これらの工夫により、会員様の利便性等に配慮した支部運営をして参りたいと存じます。

## § 近畿支部

### 【事務局】

〒617-0823 京都府長岡京市長岡 1丁目13-9 NPO 法人こらほねっと京都内

E-mail : jmtak@guitar.ocn.ne.jp

支部ホームページ : <http://www.jmtak.com/>

### 【支部役員】

任 期 : 2023年 4月～2027年 3月

支部長 : 伊藤美恵 副支部長 : 那須貴之 事務局長 : 佃 誉子 事務局次長 : 岩井澤奈巳

#### 1) 第23回近畿学術大会のご案内

「音楽療法の“場”が生み出すウェルビーイング」をテーマに第23回近畿学術大会を開催することになりました。大会とワークショップは対面、講義は Web で実施します。

〈学術大会〉

開 催 日 : 2025年 3月 1日 (土)・2日 (日)

会 場 : 大阪成蹊大学 (大阪府大阪市)

〈講習会〉

・ワークショップ

開 催 日 : 2025年 3月 2日 (日)

会 場 : 大阪成蹊大学 (大阪府大阪市)

・講義 (Web 開催)

開催期間 : 2025年 3月 3日 (月)～3月16日 (日)

他支部会員も研究発表への応募が可能です。奮ってご参加ください。詳しくは近畿支部ホームページ (<http://www.jmtak.com/>) をご覧ください。

#### 2) 近畿音楽療法学会誌のご案内

2001年度より毎年発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の概要、ラウンドテーブルの報告記事、近畿支部活動記録を掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局 (jmtak@guitar.ocn.ne.jp)、またはアカデミア・ミュージック株式会社 (03-3813-6751) までお問合せください。アカデミア・ミュージック webshop (<https://www.academia-music.com/>) からご購入いただけます。

## § 中国支部

### 【事務局】

〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町1-4-5-302

E-mail : jimukyoku.jmtacc@gmail.com

支部ホームページ : <https://jmta-cc.org/>

### 【支部役員】

任 期 : 2022年6月～2026年5月

支部長 : 武田千代美 副支部長 : 岩永 誠 事務局長 : 石井明子

去る、5月25日、26日に広島大学霞キャンパス広仁会館にて、第28回講習会および第22回支部大会を開催いたしました。昨年に続き今年もまた現地にて開催できましたことは大きな喜びでした。講師の先生方はじめ関係者の皆様のご尽力にあらためて深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

2025年度の支部大会、講習会は会場を岡山県に移して開催いたします。全国からのご参加をお待ちいたしております。

開 催 日 程 : 2025年6月28日 (土) 講習会  
29日 (日) 支部大会

会 場 : 岡山市 岡山国際交流センター 国際会議室・三木記念ホール

大 会 長 : 筒井恵子

実行委員長 : 白石良子

会 計 : 市村暁子 秀岡素子

## § 四国支部

### 【事務局】

〒782-0038 高知県香美市土佐山田町秦山町2-1-1 尾立方

E-mail : sikoku.mt@gmail.com

支部ホームページ : [jmta-shikoku.org](http://jmta-shikoku.org) (11月よりこちらに引っ越しました)

### 【支部役員】

任 期 : 2022年7月～2026年6月

支部長 : 岩永十紀子 副支部長 : 川東伸江 事務局長 : 尾立真紀

○第19回四国支部学術大会は以下の通り開催され、盛況のうちに終了しました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

日 時 : 2024年10月27日 (日)

会 場 : ハイスタッフホール (観音寺市民会館)

ハイブリッド開催 (対面とオンラインライブ配信)

大会テーマ : 「音楽療法が拓く希望と可能性～ウェルビーイングの新たな扉～」

大 会 長 : 岩永十紀子

講 師 : 佐藤正之氏

山本久美子氏

※2025年度の四国支部学術大会は2026年1月10日 (日) 愛媛県 聖カタリナ大学で開催予定です

※四国支部 Instagram を開設しました [instagram.com/jmta.shikoku/](https://www.instagram.com/jmta.shikoku/)

## § 九州・沖縄支部

### 【事務局】

〒862-0970 熊本県熊本市中央区渡鹿5丁目1番37号 介護老人保健施設フォレスト熊本内 担当：池田憲治

TEL：096-363-0101 FAX：096-363-3363

E-mail：jmta9oki@gmail.com

支部ホームページ：https://jmtakyuokimt.wixsite.com/music

### 【支部役員】

任 期：2022年4月～2025年3月

支部長：小林真寿子 事務局長：池田憲治

### 【日本音楽療法学会九州・沖縄支部の今後の予定】

#### 《2024年度第1回講習会》

日 時：2025年2月1日（土） 18：00～

\*Zoom ライブ配信、及び後日のアーカイブ配信を予定。

テーマ：「死に逝く人は何を想うのか」

講 師：佐藤由美子 先生

（全米認定音楽療法士としてホスピスで活動、帰国後緩和ケアや在宅ケア等で音楽療法を実践、2017年再び渡米、  
現在フリージャーナリストとして活躍）

#### 《2024年度第2回講習会》

日 時：2025年3月2日（日） 13：00～16：00

会 場：リファレンス大博多ビル11階 会議室1109

内 容：（決定次第、支部HPにて掲載、次の広報誌にてご確認ください）

講 師：北本福美 先生（心理臨床オフィス・プシケ代表、金沢医科大学非常勤講師）

和田玲子 先生（元広島文化学園大学教授）

#### 《日本音楽療法学会九州・沖縄支部役員選挙》

2025年1月～2月の予定

## 学会事務局からのお知らせ

### ■ 2024年度資格審査を申請される方へ

2024年度資格審査（面接試験）の申請期間や申請方法等につきましては、学会ニュース春号（47号）もしくは学会ホームページをご確認ください。なお、試験会場については変更になっております。変更後の会場につきましては、10ページをご確認ください。

### ■ 2024年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2024年10月25日（金）までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2025年2月初旬までに通知されます。

### ■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2023年度分未納の方は、このまま滞納が解消されない場合、2025年3月末にて会費未納退会となります。未納会費がある状態で退会されますと、再入会するには通常の入会費用の他、未納会費の納入が必要となります。

なお、会員ポータルサイトの導入にともない、クレジットカードでのお支払いが可能となりました。是非ご活用ください。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円  
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口

払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会 口座番号：00120-9-657711

※郵便局備え付け払込用紙や、インターネットを介して振込まれる場合は、通信欄等に、お名前、会員番号、年会費である旨をご記載いただきますようお願いいたします。

### ■ 「団体総合保障保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。保険については加入を希望される方は冊子裏面の「保険申込FAX連絡票」を切り離し、必要事項を記入してFAX送信してください。加入依頼書が届きますので必要事項をご記入の上署名捺印をして送付してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ない場合廃止となりますので奮って加入いただきますようお願いいたします。なお、この保険についてのお問い合わせはTEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

### ■ 入会案内パンフレット取寄せについて

会員の方は、学会の入会案内パンフレットを20部まで無料でご請求いただけます。学会ホームページ上のお問い合わせ欄、もしくは郵送にて必要部数を明記の上ご請求ください。送料や返信用封筒の送付は不要です。なお、学会ホームページ上、「各種刊行物」ページ内にデータが掲載されておりますので、ご自身でダウンロードし、印刷することも可能です。

### ■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択し、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

### ■ 学会ホームページ「お問い合わせ」について

学会ホームページよりお問い合わせを受け付けております。学会ホームページや学会ニュースなどの広報媒体や認定規則書等の発行物で確認ができない事項についてご質問がある場合は、学会ホームページメニュー「お問い合わせ」より必要事項を入力して送信してください。回答はご記入いただきましたメールアドレスにメールで送信されます。尚、ご回答までにはお時間を要する場合がございますので、あらかじめご容赦ください。



## ■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対象者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



## ■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料の取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、会員番号、氏名、希望資料の内容を明記した封筒（例. 規則書必修講習会コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、送付する為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定規則書	必修講習会コース	500円
	面接試験	500円
	資格更新	500円
認定音楽療法士（補） 問題解説集	2011～23年度単年度版 ※希望年度を明記してください ※2001～2010単年度版は廃版となりました。	各1,000円
	2006～10年度、2011～15年度、2016～2020年度 五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください ※2001～2005年度五ヶ年分合冊版は廃版となりました。	各2,000円
その他	抄録の書き方	1,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円
	倫理ハンドブック	500円
	特別プロジェクト研究報告	500円
	音楽療法臨床ハンドブック	2,000円
DVD	音楽の力2012 ～音楽療法が拓く可能性～	1,000円
学会誌、学術大会要旨集、学術大会 講習会資料集（2018年度～）	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌 バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）、2018年度以降の 学術大会講習会資料集のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりません ので下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

## ■ 学会ご登録内容の変更について

---

### ●住所・連絡先・メールアドレス変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先、登録のメールアドレスに変更がある方は、会員ポータルサイト内にてご自身の登録情報の変更を行ってください。

### ●名義変更

名義の変更をされる方は、学会ホームページ上「各種手続き」の「各種変更」より専用フォームにてお手続きください。会員ポータルサイトからは変更のお手続きはできませんのでご注意ください。

### ●会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。学会ホームページ上「各種手続き」の「各種変更」より専用フォームにてお手続きください。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、有効期限記載の確認できる学生証のデータ添付が必要となります。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、必修講習会を受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

## ■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

---

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

### ●音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）など

手数料：500円

### ●音楽療法士資格登録証明書、認定証

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含みます。

※3×4 cmの顔写真、現在お持ちの登録証明書と認定証を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・認定証ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

## ■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

---

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、掲載を希望される際は、現在掲載されているページを参考に Word にて求人情報掲載内容を作成し、kanri@jmta.jp へお送りください。内容確認後、掲載可否についてお知らせいたします。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

## ■ お詫びと訂正

---

学会ニュース第47号に下記の誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、謹んで訂正いたします。

\*学会ニュース第47号 17ページ 2023年度 海外発表助成金授与者の発表報告

受賞者氏名 誤：近藤 瑛祐

正：近藤 瑛佑

## ■ 事務局員の退職について

---

退職1名 石井 明日香（2024年8月31日付）

定款はニュース47号 P31～をご覧ください。